

留学報告書



留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	ビュートカレッジ
留学期間	2018年8月～2018年12月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	40万円
保険料	2万円
宿舍費（1か月あたり）	約7万円
食費（1か月あたり）	ミールプラン
渡航旅費	12万円

滞在形態関連

1) 種類
寮。
2) 部屋の形態
相部屋（2人）。
3) 設備
シャワー、トイレ、エアコン、キッチン、ランドリー、インターネット環境、食堂、Studying Room、宅配ボックス。
4) 住居を探した方法
留学先大学のホームページ。

現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？

はい。

2) 現地で病院にかかったことはありますか？

いいえ。

3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？

いいえ。

4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？

はい。ツベルクリン検査。

5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？

留学先の友人、日本にいる友人や家族、大学の留学担当窓口。

6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？

銃の使用などがあったと聞きましたが、実際に何かしらの危険には巻き込まれませんでした。

7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？

現地で SIM カードを購入し、その店で設定までお願いしました。その後は問題なく使用できました。

8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？

日本で開設してある口座を使用し、日本のクレジットカードで生活していました。

9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？

寮の場所が都会ではないため、日本食等は持参もしくは途中で郵送してもらうなどをしてもらった方が良いです。

10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？

クレジットカード。

11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

現地の口座等は特に必要なく、日本のカードで生活できました。

渡航について

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？

バスや電車。

2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？

はい。3日ほど。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）
--

履修した授業科目名

Health and Wellness

授業内容や試験，授業を受けた感想について

授業は主にスライドを使用した講義でした。他の科目に比べて専門用語は多かったです，試験は比較的楽でした。

履修した授業科目名

Interpersonal communication

授業内容や試験，授業を受けた感想について

先生の講義とグループワークが半分ずつあるような授業でした。先生がフランクで非常に受けやすかったです。英語能力の向上に役立ちました。

履修した授業科目名

Intercultural communication

授業内容や試験，授業を受けた感想について

様々な地域出身の生徒がいました。グループワークも多く，友達も非常に作りやすかったです。留学生には非常におすすめな授業でした。
--

履修した授業科目名

Public Speaking

授業内容や試験，授業を受けた感想について

スピーチ準備と発表を何回か行う授業でした。人前で英語を話す恐怖が減り、非常にありがたい授業でした。

留学体験記

<p>留学しようと思った理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>まず留学をしようと思ったのは、TOEFL の受験のタイミングです。留学する際に必要な点数に達していたため、せっかくチャンスを掴めたので是非参加しようと考えました。留学先の決定については金銭的な部分が多かったです。プログラムの充実などよりも、現地で自分がどう振る舞うかの方が大切だというアドバイスを受けたり、自分自身そう感じていたため、留学期間が短いことは少し気になっていましたが、授業料がなるべく安いところを順番に探していました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>留学準備はパスポートなど非常に細かい部分からいうと 2~3 月頃からはじめました。実際に留学に参加するのに適切な大きさのキャリーバッグをはじめとした荷物等に関しては 5 月頃から始めていました。8 月から年末までの留学期間だったので、夏から冬まである程度対応できるような服や道具などを持って行きました。僕は長期的に外国に滞在することが初めてだったので、必要なかわからないものが多くありました。より多くの情報を留学を経験している先輩から得るべきだったと感じました。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>アプリに関して言えば、Uber や Lyft などのタクシーのアプリは非常に便利でした。通常のタクシーは非常に高くつくので、これらのアプリで呼び出せるタクシーを利用していました。一人で乗るには高いですが、複数人で乗るには安価で非常におすすめです。現地の学生でも Uber などのアプリを使用している人が大半でした。また現地の友達とのコミュニケーションですが、Snapchat と Instagram が基本でした。アメリカであればこの二つのアカウントを開設しておけば、大半は大丈夫だと思います。</p>
<p>大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)</p>	<p>大学は敷地自体がとても広く非常に居心地がよかったです。屋外でリラックスできるようなところもあり、またカフェテリアも非常に席数が多く、授業の空き時間などを友達と過ごすのに非常に役に立ちました。また学生の雰囲気ですが、フレンドリーな人たちが多かったです。特にアメリカに留学にきている、アメリカ人以外の人たちはより親しみやすかったです。また日本に興味がある、もしくは好印象な人が非常に多かったです。出身が日本であることを伝えると、より折り入った質問をしてくれたり、非常に過ごしやすかったです。</p>
<p>滞在先の雰囲気</p>	<p>滞在先の寮の設備に関しては、特に大きな不満はありませんでした。Wi-Fi 環境もそれなりに安定しており、プールやスターバックスなどが寮内にあり、ある程度快適に過ごすことができました。ただ、栄えている市街地などが近くにないことは不便でした。部屋で食べる軽食等を買いだすのにも、それなりに歩いたり、どこか旅行に行くにしても空港まで行くのに非常に時間とお金がかかることが難点でした。しかし普段に関しては自然が多く、空気が綺麗でとても好きになれる街並みでした。</p>

<p>留学先における交友関係</p>	<p>まず日本に強く興味を持っている人たちとは非常に仲良くなりました。そういった人たちは日本人である自分に積極的に話しかけてくれ、打ち解けるのはすぐでした。また自分は小学校の頃からサッカーをしており、そういった点を最初の自己紹介のタイミングで話すとサッカー部の人であったり、サッカーに興味のある人と仲良くなりました。特にサッカー部にいる友達とは仲良くなり、放課後や週末に試合が行われるたびに教えてくれ、観戦することもよくありました。その他にも授業のグループワークを通して友達は多く作ることができました。</p>
<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>留学期間に辛かったことの一つは、食です。アメリカではハンバーガーやピザなどが主に出され、途中からあまり美味しいと感じなくなり日本食が非常に恋しくなりました。寮での食事はバイキング形式だったのですが、あまりメニューも代わり映えせず飽きてしまいました。また何度か書かせてもらっていますが、課題といった面でも非常に大変でした。英語の文献を予習してから授業に望むようなものもあり、授業内よりも放課後に行う授業準備の方で苦戦した記憶が強いです。</p>
<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>まずは授業内で飛び交う専門用語に関してはとても苦労しました。知らなかった表現や英単語が多い中で、それに加えて専門用語が入るのは非常に大変でした。知らない単語や表現、専門用語などはまずノートにメモして、寮に帰った後に辞書でまとめて引くといった対策をしていました。また授業外で行う宿題などの量が多く凄く苦労しました。英語の文献を読んでから望むような授業もあり、特に Public Speaking ではスピーチの台本や構成等は基本的に授業外で終わらせておくことが基本だったので大変でした。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>授業がない時には、サッカー部の試合を見にいったりしました。現地ではサッカー部に入っている人たちに友達が多かったので、観戦に誘われることも多かったです。その他には、現地に住んでいるアメリカ人の家にお邪魔したりしていました。また実際に通っていた大学ではないのですが、近くの大学の国際交流イベントのようなものに誘われ、参加することも多くありました。現地での授業は課題やプレゼン準備など授業外での準備が多かったので、大学の図書館で課題を進めることも多くありました。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>留学先では様々な国から、また様々な目的を持って留学にきている人がたくさんいました。僕の留学先はアメリカでしたが、南米からヨーロッパまで世界中からたくさんの人種で溢れていました。もちろん英語の能力を伸ばすことも留学することの大きな目的の一つではあると思いますが、多種多様な目的や人種に囲まれているという環境を最大限活かし、自分の中の考え方や価値観に大きく影響を受けることも英語の能力の向上と同等の価値があると感じました。</p>

